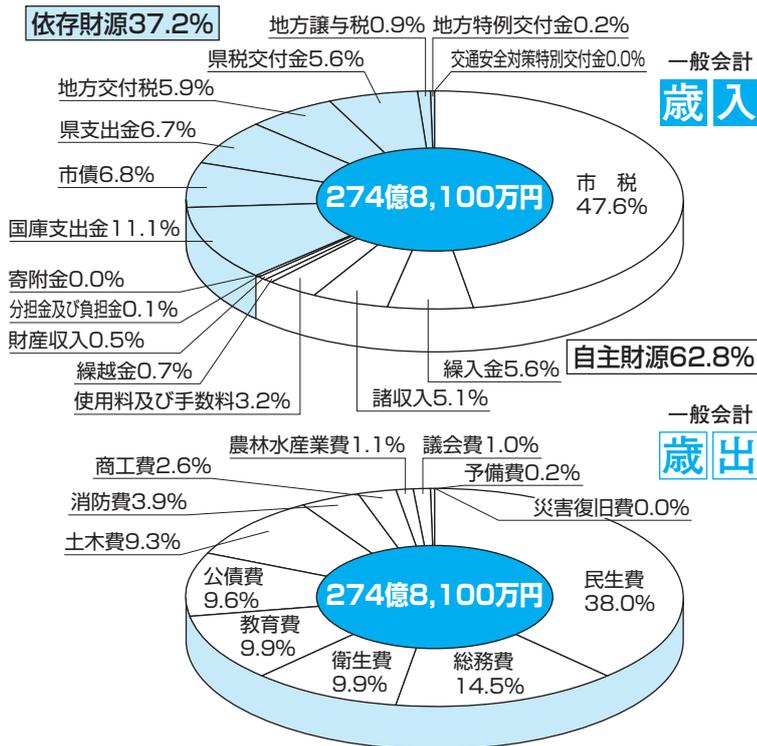


平成28年度一般会計予算 などを議決

3月定例会
議案

3月市議会定例会は、2月24日から3月22日までの28日間の会期で開き、議案38件を審議しました。

平成28年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



平成28年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	274億8,100	1.0%増
特別会計	国民健康保険事業	95億4,050 1.2%減
	介護保険事業	62億150 5.3%増
	後期高齢者医療事業	18億8,580 10.8%増
	土地区画整理事業	17億4,400 10.1%増
	企業用地造成事業	7億2,270 皆増
	公共用地対策事業	1億2,190 11.3%増
	下水道事業	24億4,650 3.0%減
	三谷町財産区	4,020 19.6%増
	西浦町財産区	1,310 6.4%減
	小計	227億1,620 5.6%増
企業会計	水道事業	収益的 16億8,840 1.5%減
		資本的 11億2,430 0.6%減
	病院事業	収益的 79億1,990 0.0%減
		資本的 8億3,070 4.0%減
	モーターボート競走事業	収益的 838億4,090 0.8%減
		資本的 8億1,740 52.5%減
小計	962億2,160 1.7%減	
合計	1,464億1,880 0.1%減	

予算審査 特別委員会から

平成28年度一般会計予算など13会計予算は、18人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長 稲吉郭哲、副委員長 鈴木基夫）を設置し、審査されました。審査は、3月10日、11日、14日、15日の4日間にわたり、慎重に行われました。

○ 一般会計予算

- 歳出
- 総務費

明確な選挙推進事務

問 選挙権年齢が満20歳から満18歳に引き下げられる

が、投票率向上のための啓発活動はどう進めるのか。

答 27年度は数年後に有権者となる小学生を対象として「選挙って何？」というテーマで出前トークを開催した。28年度も小学校での実施は継続し、新たに中学校でも選挙制度の解説や模擬投票等の出前講座を計画している。また、18歳から20歳代前半の市職員の特別研修を手始めに、大学や若者が多く働く市内の事業所へ順次出張して啓発活動を実施していきたい。

● 民生費

ワンコインお助けサービス

問 高齢者のみで構成される世帯が電球の交換、買い物、ゴミ捨て等の困った時にお願するサービスということであるが、迅速な対応を求められると感じている。委託先のシルバー人材センターへの依頼方法や、その後の対応はどう想定しているのか。

答 依頼はシルバー人材センターに直接していただき、シルバー人材センターの対応としては、会員に地域リ